

TOTO



バスリフト



EWB100RR, EWB101R, EWB102, EWB103

この説明書は、お客様もご使用されます。
施工後に必ずお客様にお渡しください。

安全のために必ずお守りください




取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、機器を安全に正しく取り付けいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

表示	意味
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容を伝えるものです。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を伝えるものです。

専用の充電器、電池の取扱説明書及び本体の注意表示にも沿ってお使いください。取り扱いを誤ると思わぬ事故や故障の原因となります。

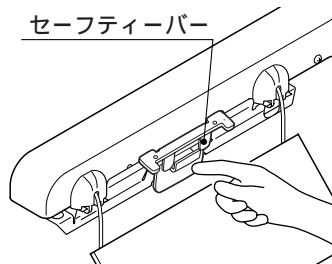
警告

 禁止	充電器を浴室内や湿気の多い場所に持ち込んで充電しない。 ●感電や火災のおそれがあります。
 必ず実行	バスリフトは使用の浴槽に合わせて確実に幅調整を行う。 ●使用中にバスリフトが転落し、ケガをしたり浴槽を破損するおそれがあります。
 必ず実行	試運転の際は、シートが確実に取り付けられていることを確認する。 ●取り付けが不十分だと使用中にシートが外れ、ケガをするおそれがあります。

セーフティーバーを押し上げた状態で赤いボタンを操作しても上昇しない事を確認してください。

バスリフトにはシートの上昇中にシートとアームとの間に手や指をはさみそうになった場合にシートの上昇を停止させるセーフティーバーが付いています。

セーフティーバーを押し上げている間、シートは上昇しません。



「バスリフトが動かない!？」など、故障かな?と思われることがありましたら、修理を依頼される前にまず取扱説明書P.24の「どうしてかな? (修理を依頼される前に)」をよくお読みください。

3 試運転が終わったら...



警告






必ず実行









使用しない時や、お手入れの前には電池を取り外す。
●誤動作により手などはさむおそれがあります。
取り外した電池は浴室外の湿気のない場所に保管する。







試運転が終わりましたら、電池を取り外しておいてください。

「1 電池を取り付けます」の手順にならって電池を取り外してください。

この説明書は、お客様もご使用されます。
施工後に必ずお客様にお渡しください。

 警告	
 必ず実行	セーフティーバーが浴槽に当たっていないか確認する。 ●当たっているとシートが上昇できなく、濡れたりするおそれがあります。
 必ず実行	使用しない時や、お手入れの前には電池を取り外して浴室外の湿気のない場所に保管する。 ●誤動作により、手などはさむおそれがあります。

 注意	
 必ず実行	バスリフトを持ち運ぶ場合は、足元や手およびバスリフトの水気をふき取ってから行う。 ●誤ってバスリフトを落とすとケガをしたり、浴槽や浴室を破損するおそれがあります。
 必ず実行	バスリフト本体を浴槽に載せる際は、浴槽壁面とバスリフトのアームの間や、バスリフトと浴槽の間に手や指をはさまないように注意する。 ●ケガをするおそれがあります。
 必ず実行	バスリフトが浴槽内に落下しない位置に仮置きする。 ●破損のおそれがあります。
 禁止	バスリフトは浴槽の操作ボタン類等の突起物や水洗金具等の浴室内の他の機器類にぶついたり、その上に載せたりしない。 ●破損するおそれがあります。
 禁止	幅調整ねじを締めつけ過ぎない。 ●浴槽を破損するおそれがあります。
 必ず実行	バスリフトを持ち上げたり、傾けたりする時は、バスリフトにはさまれないように注意する。 ●ケガをするおそれがあります。
 必ず実行	バスリフトを持ち上げたり、傾けたりする時は、バスリフトを落とさないように注意する。 ●ケガをしたり、浴槽や浴室を破損するおそれがあります。

 注意	
 必ず実行	セーフティーバーが浴槽に当たっていないか確認する。 ●当たっていると、シートが上昇できなく、濡れたりするおそれがあります。
 必ず実行	手すり付バスリフトの壁側用フラップは長さ調整が必要です。 バスリフトの寸法に合わせて必ず調整する。 ●手ばさみなどのケガのおそれがあります。
 必ず実行	シート取付シャフトを押込むときは、手をはさまれないように注意する。 ●ケガのおそれがあります。
 必ず実行	シートが確実に取り付けられていることを確認する。 ●取り付けが不十分だとシートが落下したり、濡れたりケガをするおそれがあります。
 禁止	シート取付シャフトを持ってバスリフトを持ち上げたりしない。 ●本体の故障によりケガをする恐れがあります。

お取り付けの前に

1 バスリフトをお取り付けになる浴槽を確認してください。

浴槽の種類について

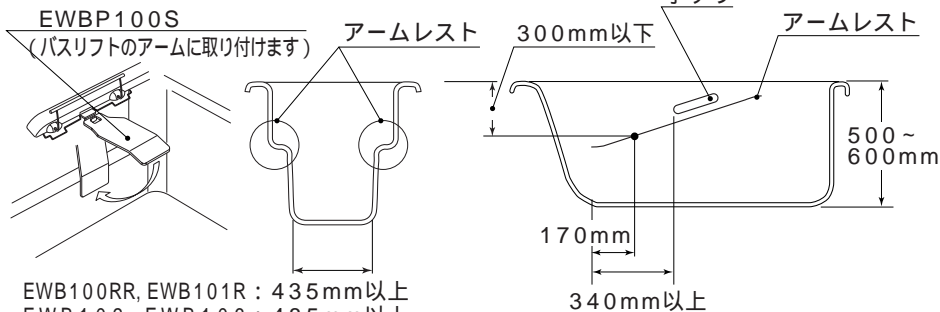
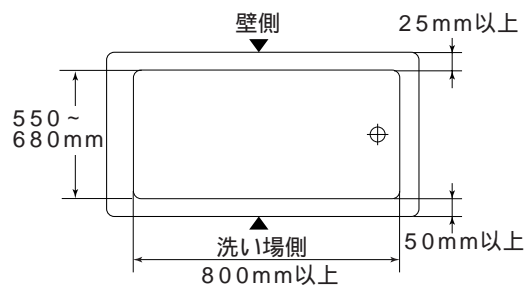
- お取り付けできる浴槽 ...和風バス、和洋折衷バス
- ×お取り付けできない浴槽 ...洋風バス、スーパーエクセレントバス等の特殊な形状の浴槽
ヘッドレスト付浴槽、エアブロー機能付浴槽

浴槽の形状・寸法について

お取り付けできる浴槽 ...下図の条件に当てはまる浴槽

浴槽内法の長さが800mmの場合、バスリフトに座った際のひざ前の空気がせまくなり、ご使用される方の状態によっては使用に適さない場合もありますので、十分にご注意ください。

アームレスト付浴槽の場合、別売品のアームレスト乗越えキット (EWBP100S) が必要です。



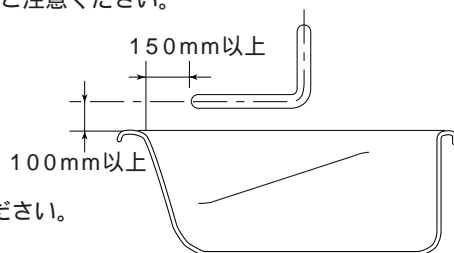
EWB100RR, EWB101R : 435mm以上
EWB102, EWB103 : 485mm以上

- ×お取り付けできない浴槽 ...上図の条件に当てはまらない浴槽

手すりの設置について

浴室に手すりを設置する場合、設置位置にご注意ください。

- 浴槽上端より100mm以上離してください。
- 浴槽背もたれより150mm以上離してください。



その他のご注意

- 60以上の室温で使用、保管しないでください。
- 故障の原因となります。

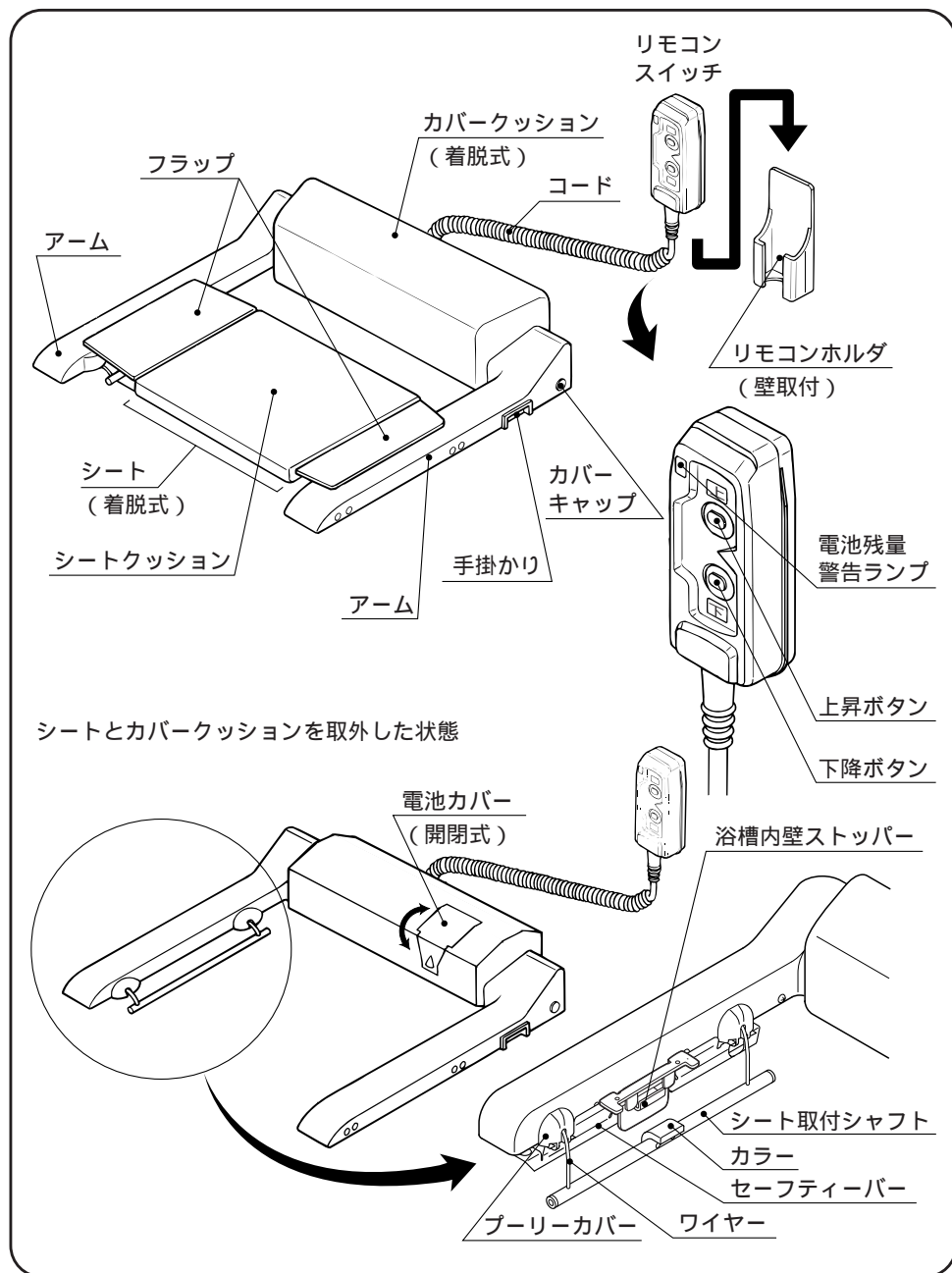
梱包内容

2 梱包内容を確認してください。

箱の中には以下の物が入っています。

名称	印刷物組品	バスリフト本体		シート	
数量	一式	1台		1台	
形状					
名称	フラップ 小	フラップ 大	クリップA	カバーキャップ	スペーサーセット
数量	1ヶ	1ヶ	3ヶ	2ヶ	1式
形状					
名称	充電器取扱説明書		充電器	電池	
数量	1冊		1台	1ヶ	
形状					
	日立工機 日立急速充電器				
	充電器に同梱				

各部の名称



取り付け方

1 まず充電を！



警告



禁止

充電器を浴室内や湿気の多い場所に持ち込んで充電しない。
●感電や火災のおそれがあります。

指定の電池以外はご使用にならないでください。故障の原因となります。
バスリフトは充電商品です。
充電器に付属の取扱説明書をよくお読みの上、まず電池を充電してください。
(充電時間は約45分です)

2 バスリフト本体を浴槽に設置します。



注意



必ず実行

バスリフトを持ち運ぶ場合は、足元や手、バスリフトの水気をふき取ってから行う。
●誤ってバスリフトを落とすとケガをしたり、浴槽や浴室を破損するおそれがあります。



注意



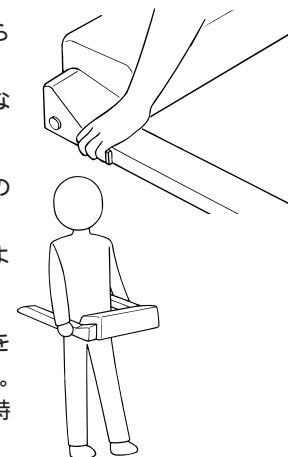
必ず実行

バスリフト本体を浴槽に載せる際は、浴室壁面とアームの間やバスリフトと浴槽の間に手や指をはさまないように注意する。
●ケガをするおそれがあります。

バスリフトを浴槽に設置する場合は、浴槽の水を抜いてから行ってください。
誤ってバスリフトを落として水没させると、故障の原因になります。

バスリフトには、左右両側に手掛かりが付いています。この手掛かりにしっかりと指を掛けて持ち上げてください。
バスリフト本体の重量は約15kgです。誤って落とさないように十分ご注意ください。

バスリフト本体を一人で持ち運ぶ場合はカバークッションを前に向け、体を左右アームの間に入れるようにしてください。
一人で持ち運ぶのが困難な場合は無理をせず、二人以上で持ち運んでください。

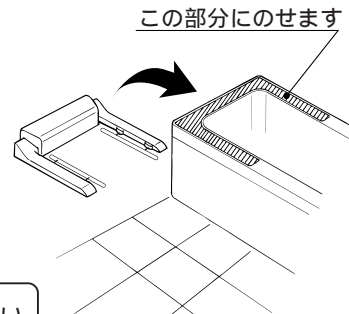


バスリフトを仮置きします。

浴槽を傷つけないように注意しながら、バスリフト本体を浴槽の背もたれ側の三方のリムに静かに載せてください。

ポイント

工場出荷の状態では、バスリフト本体の幅は最小に調整してあります。



注意



バスリフトが浴槽内へ落下しない位置に仮置きする。
必ず実行 ●破損のおそれがあります。

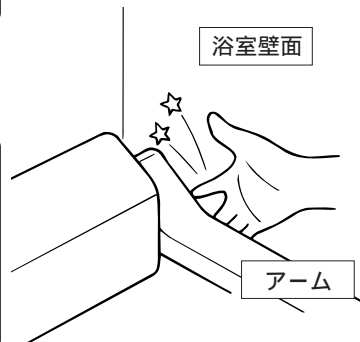
指はさみに注意してください。



警告



バスリフト本体を浴槽に載せる際は、浴槽壁面とバスリフトのアームの間や、バスリフトと浴槽の間に手や指をはさまない様に注意する。
必ず実行 ●ケガをするおそれがあります。



ご使用になる方の状態などにより、反対側（排水口側）にバスリフトを取り付ける場合は、

- ・水栓やシャワーフック
- ・バスアダプター（追焚口）
- ・浴槽ワンプッシュ排水栓の操作ボタンや給湯機のリモコンなどがバスリフトやご使用になる方の体に当たらないか、また、問題なくこれら进行操作できるか十分にご確認ください。



注意



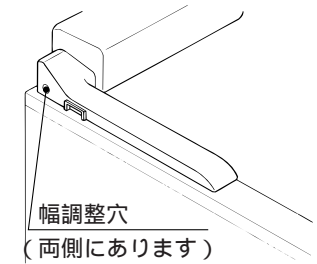
禁止

バスリフトは、浴槽の操作ボタン類等の突起部や水栓金具等の浴室内の他の機器類にぶつかけたり、その上に載せたりしない。
●破損するおそれがあります。

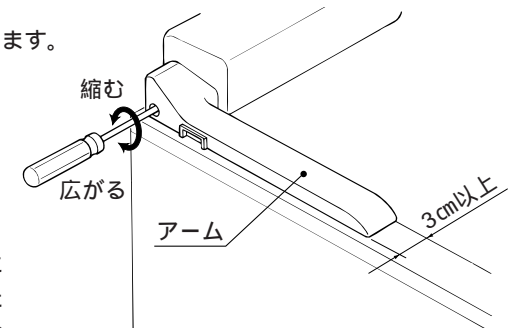
バスリフトの仮幅調整を行います。

バスリフト本体の幅調整穴（洗い場側）に+ドライバーを差し込みます。

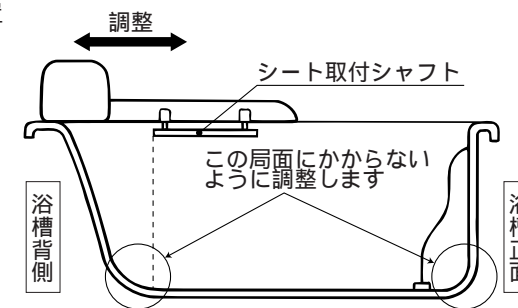
+ドライバーを回してバスリフト本体の幅を仮調整します。
左右のアームが浴槽に3cm以上載るようにしてください。



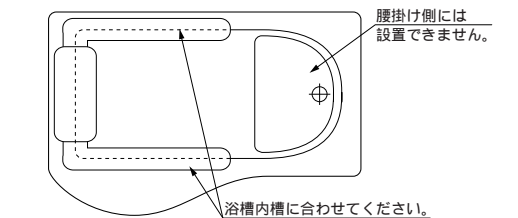
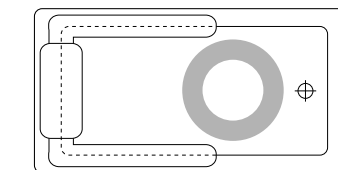
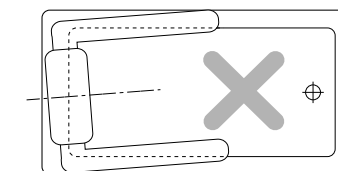
バスリフトの前後の位置調整を行います。



シートが浴槽底面まで下降した際にシート取付シャフトが浴槽の背もたれ側（または正面）曲面に干渉しないようにバスリフト本体の前後設置位置も調整してください。



バスリフトは斜めに設置しないでください。



3 バスリフト本体の幅を調整します。



警告



必ず実行

バスリフトは、使用の浴槽に合わせてアームの幅調整と浴槽内壁ストッパーの調整が必要です。確実にアームの幅調整と浴槽内壁ストッパーの調整を行い、ガタツキがない事を確認する。

- 使用中にバスリフトが転落し、ケガをしたり浴槽を破損するおそれがあります。



注意

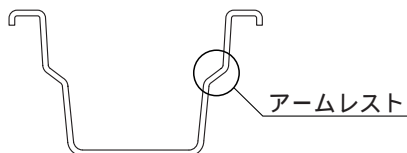


禁止

- 幅調整のねじを締めつけ過ぎない。
- 浴槽を破損するおそれがあります。

ポイント

浴槽の形状をご確認ください。



・アームレスト付浴槽の場合は、別売品の「アームレスト乗越えキット」をご購入してください。

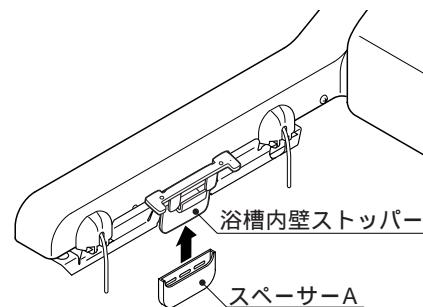
・取り付け方法は「アームレスト乗越えキット」の取扱説明書をご確認ください。

当社バスピアKCシリーズには、専用のアームレスト乗越えキット (EWBP103AR) が必要です。

バスピア品番	アームレスト乗越えキット品番
KC1620、KC1616、KC1216	EWBP103AR

(2004.4 現在)

浴槽内壁ストッパーにスペーサーAを取り付けてください。
最後まで押し上げて差し込んでください。

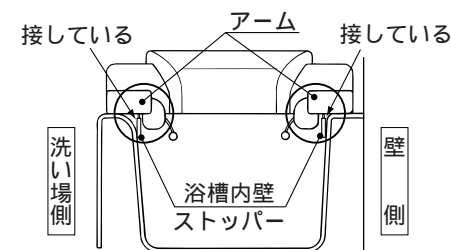
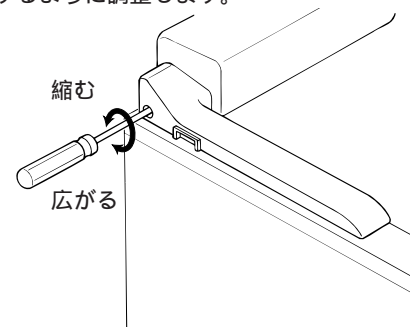


左右とも浴槽内壁ストッパーにスペーサーAを取り付けてください。

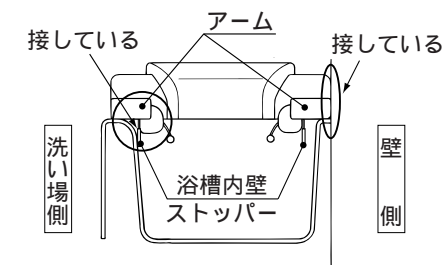
幅調整を行います。

+ドライバーを回してバスリフト本体の幅を調整します。

左右の浴槽内壁ストッパーが浴槽内側に接するように調整します。

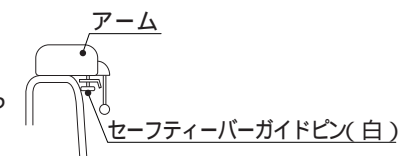


お使いの浴槽の壁側のリム幅がせまくて壁側の浴槽内壁ストッパーが浴槽内側に接するように調整できない場合は、壁側のアームを壁面に接するように調整してください。(洗い場側は浴槽内壁ストッパーが浴槽内側に接するようにしてください)



ポイント

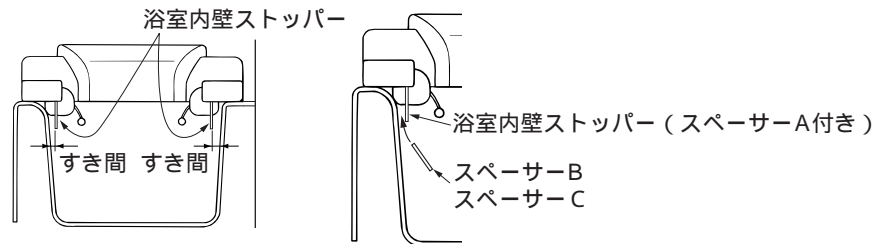
この時セーフティーバーガイドピンが浴槽に当たったらそれ以上にアームを広げないでください。



浴槽内壁ストッパーの調整をします。

(浴槽形状により、すき間が発生した場合この作業を行ってください。)

浴槽内壁ストッパーと浴槽のすき間量に応じてスペーサーB、スペーサーCを取り付けます。



スペーサーB、スペーサーCを取り付ける時バスリフトの幅を若干縮めると取り付け作業がしやすいです。この時、バスリフトの落下や、バスリフトと浴槽等の手ばさみにご注意ください。

注意



必ず実行

バスリフトを持ち上げたり、傾けたりする時は、バスリフトにはさまれないように注意する。
●ケガをするおそれがあります。

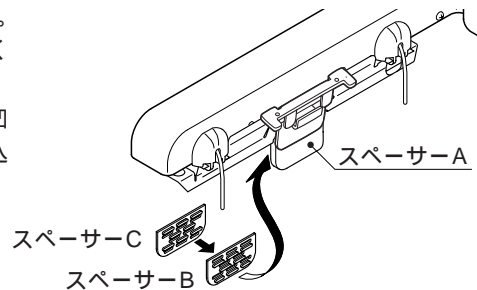
注意



必ず実行

バスリフトを持ち上げたり、傾けたりする時は、落とさないように注意する。
●ケガをしたり、浴槽や浴室を破損するおそれがあります。

スペーサーAは、裏側に凹があります。その凹にスペーサーBの凸を合わせ強く押し込んでください。スペーサーCも同様にスペーサーBの凹にスペーサーCの凸を合わせ強く押し込んでください。



ポイント

すき間が、左右で異なる場合には、バスリフトが浴槽中央にセットされているか再度確認してください。

それでも左右のすき間が異なる場合には、スペーサーB、Cの取付枚数で左右のすき間量の差を調整してください。

幅調整後の確認

1) アーム幅は広すぎませんか？ 浴槽内壁用ストッパー用スペーサーが浴槽に当たったとき、ドライバーを半回転から1回転程度もどし、若干ゆるめる程度が最適です。

注意

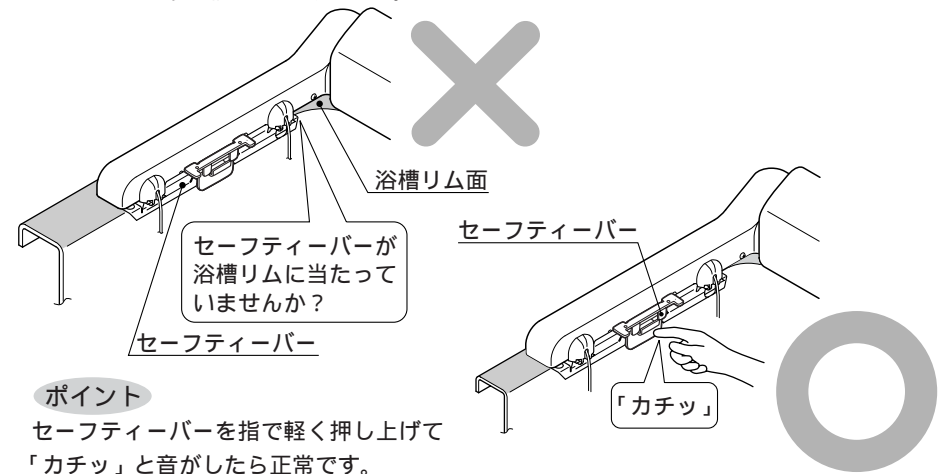


禁止

幅調整のねじを締めつけ過ぎない。
●浴槽を破損するおそれがあります。

2) セーフティーバーをチェックしてください。

セーフティーバーが浴槽に当たっている場合は、バスリフトの位置をずらして当たらないように調整してください。



ポイント

セーフティーバーを指で軽く押し上げて「カチッ」と音がしたら正常です。

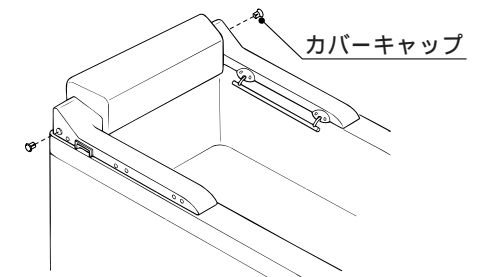
注意



必ず実行

セーフティーバーが浴槽に当たっていないか確認する。
●当たっていると、シートが上昇できなく、溺れたりするおそれがあります。

幅調整部のカバーキャップを取付けます。



ポイント

手すり付バスリフト (EWB100RRT1,T2) の場合には、事前にフラップのカット作業をしてください。



注意



必ず実行

手すり付バスリフトの壁側用フラップは長さ調整が必要です。

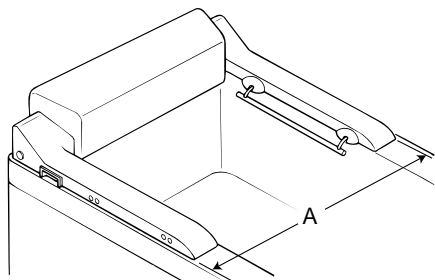
バスリフトの寸法に合わせて必ず調整をする。

- 手ばさみなどのケガのおそれがあります。

調整のしかた

- 1) バスリフトの設置後のA寸法を測ります。
フラップのカット寸法は、次の通りです。

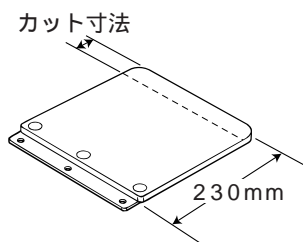
$$\text{カット寸法 (mm)} = 760\text{mm} - \text{A寸法 (mm)}$$



- 2) フラップ大をカットしてください。

下図の部分のをこぎり等でカットしてください。

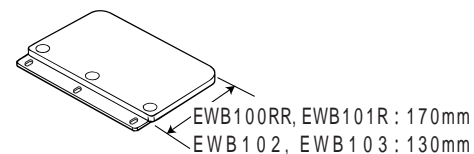
カット後は、フラップの角部及びエッジ部をやすり等でなめらかに丸めてください。



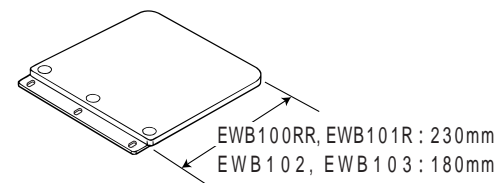
4 シートにフラップを取り付けます。

バスリフトの幅寸法によって使用するフラップの大きさが異なります。
取り付けるフラップを間違えないようご注意ください。
(表側を上にして取り付けてください。下図の面が表側です。)

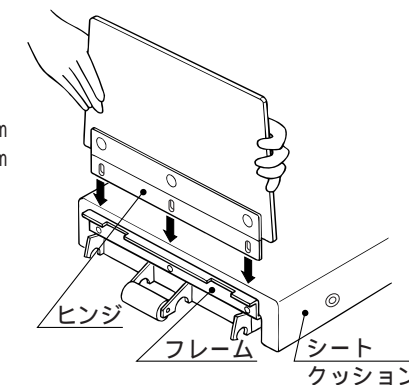
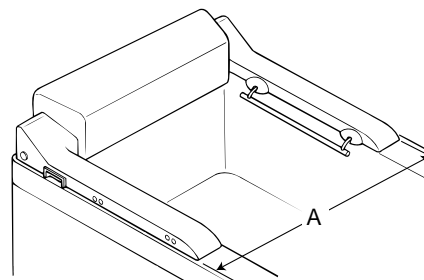
右図のA寸法が705mm未満の場合
フラップ小を使用します。



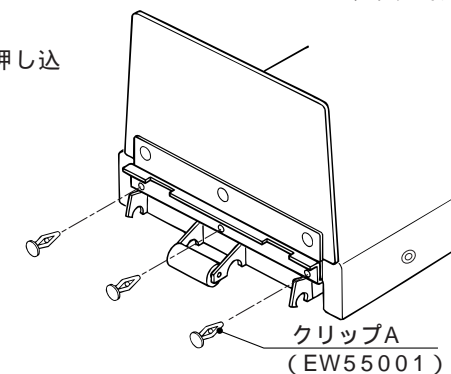
右図のA寸法が705mm以上の場合
フラップ大を使用します。



シートにフラップのヒンジを差し込みます。
ヒンジの穴とフレームの穴の位置を合わせてシートクッションとフレームの間にヒンジを差し込んでください。



ヒンジを固定します。
フレームの上からクリップAを3ヶ所押し込み、ヒンジを固定してください。



5 バスリフト本体にシートを取り付けます。

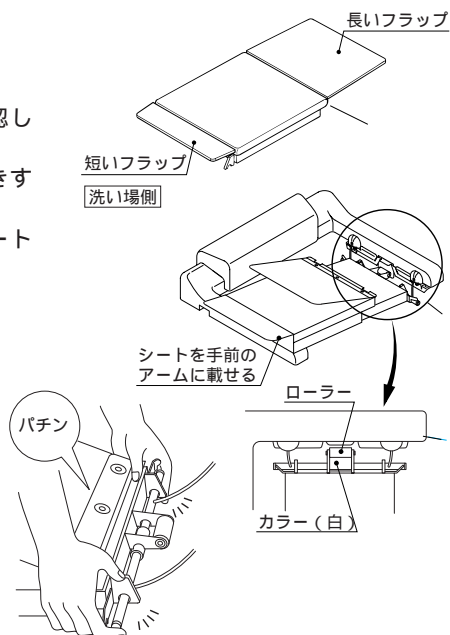
シートは、短いフラップを洗い場側に向けてください。

フラップを跳ね上げ、取り付け位置を確認しながら作業してください。
この時シートを手前のアームの上に仮置きすると作業しやすいです。
シート取付シャフトの「カラー」と、シートの「ローラ」の位置を合わせます。

ポイント

この時人差し指でシート取付シャフトを呼び込むと簡単に位置合わせできます。(右図参照)

「シート取付シャフト」とシートの「切欠き部」の位置を合わせます。
「シート取付シャフト」を「パチン」と音がするまでシートの「切欠き部」に押し込みます。



注意



シート取付シャフトを押し込むときは、手をはさまないように注意する。

必ず実行 ●ケガのおそれがあります。

反対側も同じ要領で行ってください。

「シート取付シャフト」を「パチン」と音がするまでシートの「切欠き部」に押し込みます。

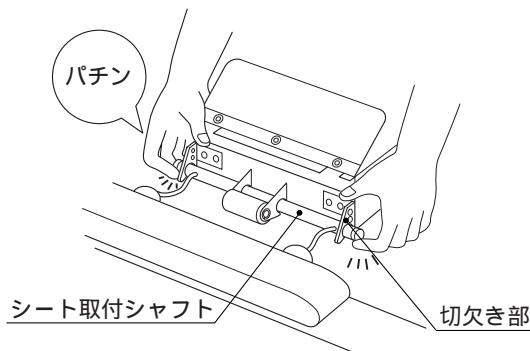
警告



必ず実行

シートが確実に取り付けられていることを確認する。

●取り付けが不十分だとシートが落下し、濡れたりケガをします。
おそれがあります。



6 スイッチホルダーを取り付けます。

リモコンスイッチは、激しく水のかかる場所に放置しないでください。
故障の原因となります。

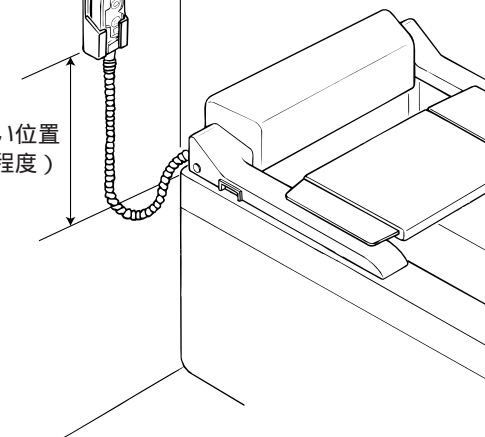
スイッチコードを折り曲げたり、無理にひっぱったり、またスイッチコードの上に重いものを載せるなど、乱暴に扱わないでください。
断線などの故障の原因となります。

スイッチホルダーの裏面には両面テープが貼ってあります。
表面の紙をはがして、水のかかりにくい位置に貼りつけてください。

スイッチホルダーを貼りつける壁面のよごれや水滴をよくふき取ってから貼ってください。

スイッチコードに無理な力が加からない位置
(100mm程度)

浴槽リム面よりも高い位置
(400mm程度)



7 取り付け状態を確認します。

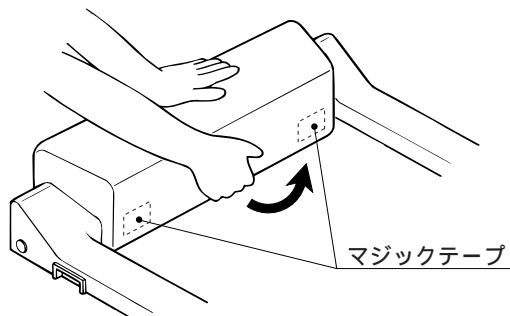
- バスリフトが斜めになっていたり、前後、左右にずれていませんか？
- 浴槽内壁ストッパーが浴槽に当たっていますか？
- 浴槽には無理な力が加かっていませんか？
- セーフティーバーが浴槽に当たっていませんか？
- フラップは浴槽寸法に合ったものが取付けられていますか？
- シートは短いフラップが洗い場側になっていますか？
- スイッチホルダーは水のかかりにくい位置に取り付けられていますか？
- スイッチコードには無理な力が加かっていませんか？

試運転

1 電池を取り付けます。

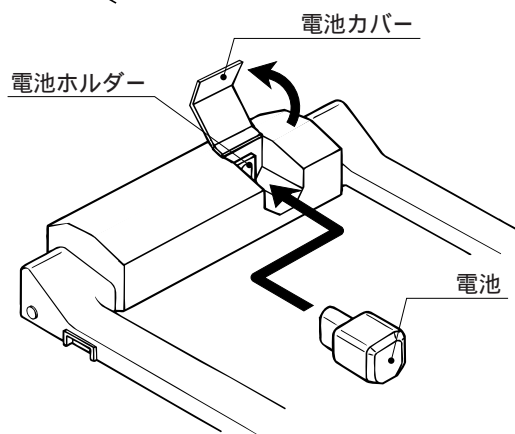
指定の電池以外はご使用にならないでください。故障の原因となります。

カバークッションを取り外します。
カバークッションはマジックテープで固定されています。
カバークッションを持ち上げて取り外します。



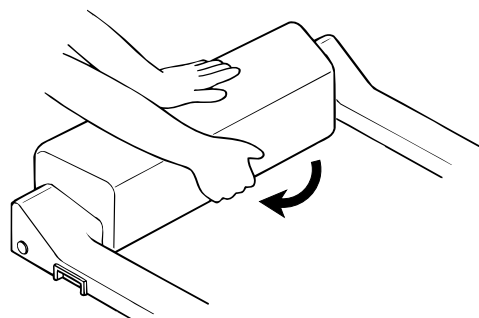
電池カバーを開けます。

電池の向きに注意して電池を電池ホルダーに差し込み、電池カバーを閉じます。



電池が水滴などでぬれている場合は、乾いた布などで水気をふき取ってください。
電池やバスリフトの故障の原因になります。

カバークッションを取り付けます。
と逆の要領でカバークッションを取り付け、マジックテープでしっかり固定します。



2 リモコンスイッチを操作します。

バスリフトは、ワイヤーに荷重がかかっていないと、リモコン操作をしても下降しません。
試運転時は、シートを取り付けて行ってください。
この時、シートに荷重を加えると試運転しやすいです。

ポイント

浴槽にお湯がない状態では、シートの荷重だけで下降可能です。

青いボタンを操作します。

青いボタンを押している間、シートは下がり続けます。
青いボタンを放せば、シートはその位置で止まります。
シートが浴槽底面までさがると停止します。

赤いボタンを操作します。

赤いボタンを押している間、シートは上がります。
赤いボタンを放せば、その位置で止まります。
シートが最上位置（アームと座面が同じ高さ）まで上がると停止します。

電池のリフレッシュ操作を確認します。

リモコンスイッチの下降ボタン（青）を押しながらバッテリーをバスリフトに差込んでください。

リモコンの電池残量警告ランプが点滅しているか確認してください。

ポイント

点滅中は、リフレッシュ中です。

この状態で昇降しない事を確認してください。
（リフレッシュ中は、昇降しません。）

リフレッシュを終了させる為に必ず電池を取外してください。

